

参考資料

1. 最近の取り組み（新聞、雑誌等の記事より抜粋）
2. プロジェクト事例
3. その他

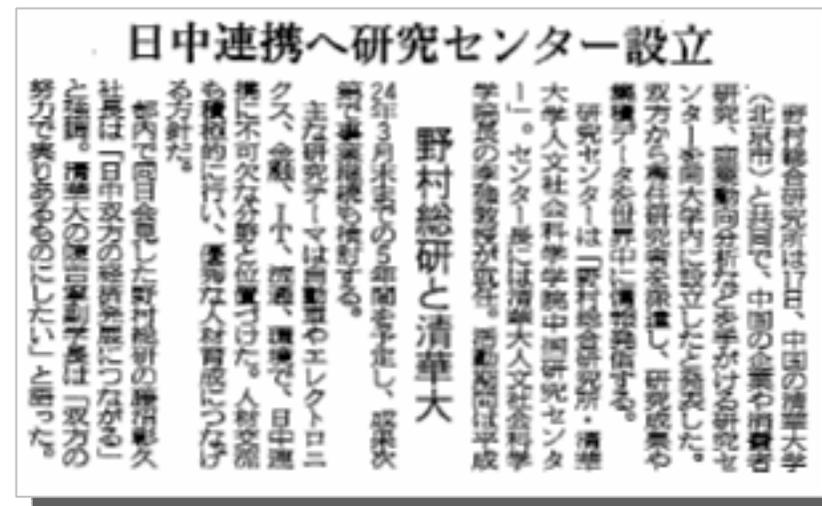
1. 最近の取り組み - 中国事業

中国・清華大学との 共同研究センター設立

- 活動期間は、2012年3月末までの5年間
- 主な研究テーマは、日中連携に不可欠な分野
 - ・自動車
 - ・エレクトロニクス
 - ・金融
 - ・IT
 - ・流通
 - ・環境
- 双方から専任研究者を派遣し、研究成果や集積データを情報発信
- NRIが総額3.1億円を拠出

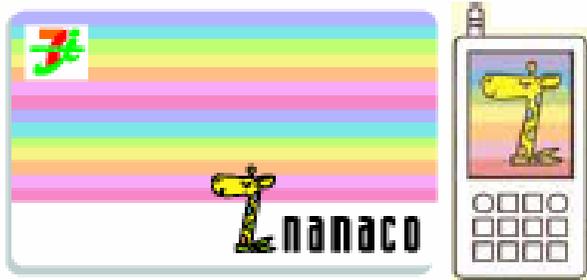


2007年4月17日 清華大学との共同記者発表



2007年4月18日 産経新聞

1. 最近の取り組み - セブン&アイホールディングス 'nanaco'



2007年3月28日 日本経済新聞

**セブンスイレブンで
独自電子マネー決済** 約1500店

セブンスイレブンホールディングスは、独自の電子マネー「nanaco」を、セブンスイレブンで独自に決済するサービスを開始した。nanacoは、セブンスイレブンの加盟店で、nanacoの電子マネーを決済する。nanacoは、セブンスイレブンの加盟店で、nanacoの電子マネーを決済する。nanacoは、セブンスイレブンの加盟店で、nanacoの電子マネーを決済する。

2007年3月28日 日刊工業新聞

1. 最近の取り組み - ASP型新システムサービスを開発

ASP型インターネット取引システム「TRADESTAR」

- 当該システムはNRIのデータセンターで運営し、約定件数や口座数など利用料に応じて従量課金する仕組み。初期導入コストの抑制が可能
- Webアプリケーションサーバなどのシステム基盤は、オープンソースで開発することで、高品質で安価なサービスの提供を実現

ネット取引参入 証券会社を支援 初期コスト抑える

野村総研
ASPでシステム提供

野村総合研究所(以下「野村総研」)は、証券会社のネット取引参入を支援する「TRADESTAR」を開発し、証券会社に提供している。TRADESTARは、ASP方式のインターネット取引システムで、初期導入コストを抑制し、運用コストも従量課金方式で抑えることができる。また、野村総研のデータセンターで運営されるため、セキュリティも高い。TRADESTARは、証券会社のネット取引参入を支援するだけでなく、証券会社の業務効率化にも貢献している。TRADESTARは、証券会社のネット取引参入を支援するだけでなく、証券会社の業務効率化にも貢献している。

ASP方式のインターネットトレードシステム「TRADESTAR」

野村総合研究所 野村システムサービス事業部 部長 藤原 隆雄
野村総合研究所 野村システムサービス事業部 部長 藤原 隆雄

野村総合研究所は、証券会社のネット取引参入を支援する「TRADESTAR」を開発し、証券会社に提供している。TRADESTARは、ASP方式のインターネット取引システムで、初期導入コストを抑制し、運用コストも従量課金方式で抑えることができる。また、野村総研のデータセンターで運営されるため、セキュリティも高い。TRADESTARは、証券会社のネット取引参入を支援するだけでなく、証券会社の業務効率化にも貢献している。TRADESTARは、証券会社のネット取引参入を支援するだけでなく、証券会社の業務効率化にも貢献している。

野村総合研究所 野村システムサービス事業部 部長 藤原 隆雄

野村総合研究所 野村システムサービス事業部 部長 藤原 隆雄

野村総合研究所は、証券会社のネット取引参入を支援する「TRADESTAR」を開発し、証券会社に提供している。TRADESTARは、ASP方式のインターネット取引システムで、初期導入コストを抑制し、運用コストも従量課金方式で抑えることができる。また、野村総研のデータセンターで運営されるため、セキュリティも高い。TRADESTARは、証券会社のネット取引参入を支援するだけでなく、証券会社の業務効率化にも貢献している。TRADESTARは、証券会社のネット取引参入を支援するだけでなく、証券会社の業務効率化にも貢献している。

2007年2月14日 日刊工業新聞

(株)野村総合研究所「ITソリューションフロンティア」1月号

1. 最近の取り組み - 開発部門の“内部統制”強化

ニュース&トレンド

NRIが開発部門の“内部統制”強化策 社内外の技術者1万3000人の行動を把握可能に

野村総合研究所(NRI)が新しいプロジェクト管理システムの本格利用を始めた。総勢1万3000人の技術者が、どのファイルにいつアクセスし、どんな操作をしたか、といったログ情報をすべて記録。高度検索データベースを利用して、異常なファイルアクセスを発見できる。

NRIは、新しいプロジェクト管理システム「Developer's Net」を、基本的にNRIが請け負う、すべてのシステム開発案件に利用する。現在、Developer's Netは400ものプロジェクトを管理し、NRI社員、パートナー企業の技術者、NRIの顧客企業の担当者など、総計1万3000人が利用している。

Developer's Netを利用することで、各プロジェクト単位にフォルダを作成し、フォルダにプロジェクトに関するあらゆる情報を集め、プロジェクトメンバー同士が閲覧できるようにする。フォルダに入れて管理するのは、システム設計ドキュメントやソースコードといった開発プロジェクトの成果物に加え、プロジェクトのスケジュール、開発時に生じた課題と対応策、顧客企業とやり取りした文書など。

Developer's Netの特徴は、開発者がフォルダ内のファイルをアクセスしたログ情報を高速検索し、不審な行動を検知する機能を持っていることだ。本来、その必要がない技術者が、ファイルにアクセスし、文書などをダウンロードした場合、不審な操作が実行されたらみなし、即座に検知できる。例えばアクセス数や利用時間帯に基づいてアラートを出すように設定。Developer's Netの管理者は、そのつど、ログ情報を調べる。さらに、定期的にDeveloper's Netの管理者は、不正行為がないかどうかという観点でログ情報を調べている。

こうした機能を実現するため、NRIは、ログを蓄積するデータベース(現在4テラ・バイト)の容量増大を引き上げる工夫をした。米ルーシェン開発するデータ活用支援ツール「Lucida JetQuest」(開発は日本ルーシェン)を採用。JetQuestは、米サイバースの検索用データベース「Sybase IQ」を中核に、データ連携機能や高度検索ツールを組み合わせたミドルウェアである。NRIは、Sybase IQの列単位でデータを検索できる機能を利用することで、全文検索をする必要がなくなり、「一つのファイルだけで数万件〜1億件もある膨大なアクセス・ログを数秒で検索できるようになった」(安田守NRI生産性向上推進部長)。

NRIがDeveloper's Netを構築した狙いは、開発部門における内部統制をしっかりと確立することだ。「顧客のビジネスを担うシステムを開発している以上、少しでも不審な動作がないような状態にし、万一不正な行為があったとしても、即座に把握できるようにしておかなければならない」(安田氏)。大手インテグレーション、ソフト開発状況の把握に取り組んでいるが、NRIのように、すべてのプロジェクトのアクセスログを分析できる仕組みを用意した例はあまりない。

NRIがDeveloper's Netの構築を終えたのは2006年12月。開発費は5億円前後(本誌調査)。2003年から利用していた管理システムを抜本的に作り直した。(岡本 寛)

■ Developer's Netの概要

- システム開発者 1万3000人
- Developer's Net
- ログ記録DB
- Developer's Netの管理者
- ※定期的ログファイルチェック
※重要情報を扱うファイルやフォルダにはアクセス条件を設定してあり、条件違反の検知アラートを出す
- ※ファイルとフォルダそれぞれに対して細かいアクセスレベル、利用日時、ダウンロード、アップロードなどのログを記録

22 NRI&COMPUTER 2007.2.19

Developer's Net

- プロジェクト管理システム「Developer's Net」を基本的にNRIが請け負う、すべてのシステム開発案件にて利用
- 現在、400プロジェクト・総計1万3,000人が利用
- すべてのプロジェクトのアクセスログを分析できる仕組みを導入することで、開発部門の内部統制を確立

日経コンピュータ2007年2月19日号 P.22

1. 最近の取り組み - 各地で実施されるICタグ実証実験をサポート

ICタグ実証実験

【薬剤管理】

- 製薬会社からの入庫時点でICタグを取り付け、シリアル番号や品名、ロットなどのデータを確認し、薬剤使用時に処方箋番号などの情報を電子カルテと連動

【生ビール用ガスボンベ管理】

- 経済産業省の2006年度「電子タグを活用した流通・物流の効率化実証実験」の一環
- 個別ボンベの所在地や移動履歴を把握することで、滞留や紛失を防ぐ仕組みを構築
- 国際規格EPCグローバルに準拠したUHF帯の金属対応ICタグを使用

2007年1月17日 日本経済新聞

2007年1月17日 日本経済新聞

2. プロジェクト事例



株式会社エーエム・ピーエム・ジャパン様
基幹系システムのアウトソーシング



TOKIO MARINE
NICHIDO

東京海上日動火災保険株式会社様
基幹業務のシステム構築

3. その他 - 業績補足説明資料

■ 前期実績との比較 (品目別売上高)

(億円)

(連結業績)	2006年3月期(実績)		2007年3月期(実績)			
	4Q	通期	4Q	前期比	通期	前期比
売上高	862	2,855	1,001	+16.1%	3,225	+12.9%
営業利益	116	364	109	6.3%	438	+20.4%
営業利益率	13.6%	12.8%	10.9%	-	13.6%	-
経常利益	122	382	111	8.9%	460	+20.5%
当期純利益	69	225	61	11.5%	270	+20.0%

(億円)

(品目別売上高)	4Q	通期	4Q	前期比	通期	前期比
コンサルティングサービス	81	262	88	+7.4%	298	+13.6%
開発・製品販売	313	1,117	445	+42.1%	1,357	+21.4%
運用サービス	310	1,165	338	+9.2%	1,265	+8.6%
商品販売	156	309	128	17.6%	303	1.9%
ITソリューションサービス	780	2,592	913	+17.0%	2,926	+12.9%
合計	862	2,855	1,001	+16.1%	3,225	+12.9%

3. その他 - 業績補足説明資料

売上高3,350億円・営業利益460億円の収支モデル

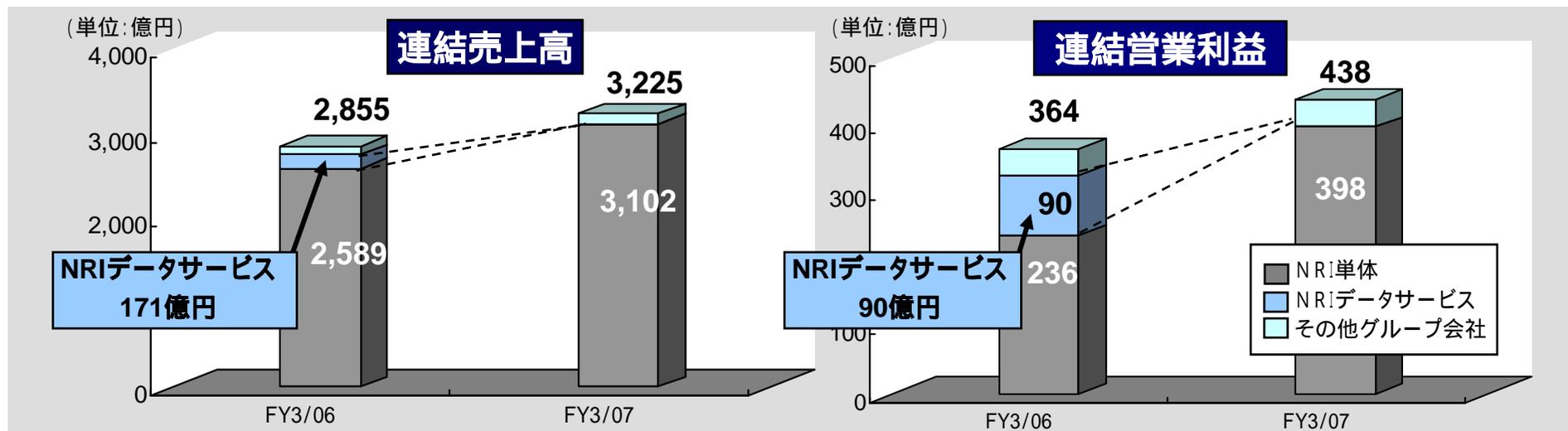
(億円)

	2007年3月期 (実績)	2008年3月期 (予想)注	増減	増減率
売上高	3,225	3,350	+125	+4%
売上原価	2,345	2,440	+95	+4%
うち労務費	501	540	+39	+8%
うち外注費	1,023	1,100	+77	+8%
うち減価償却費	188	175	13	7%
売上総利益	879	910	+30	+4%
粗利率	27.3%	27.2%	0.1P	
販管費	440	450	+10	+2%
営業利益	438	460	+22	+5%
営業利益率	13.6%	13.7%	+0.1P	

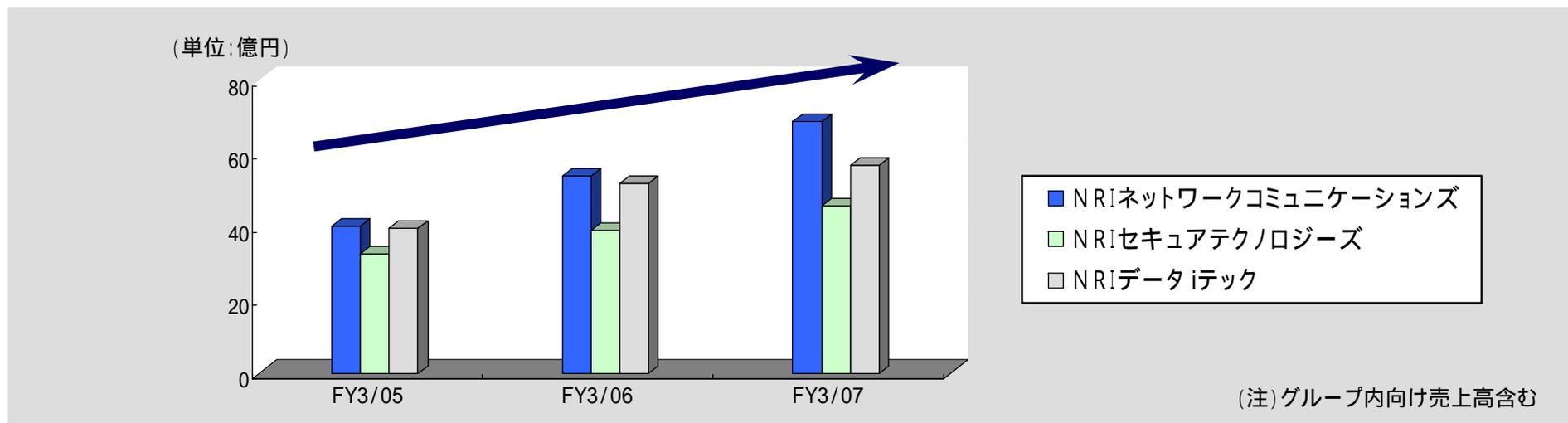
(注) 収支モデル作成のための連結想定値

3. その他 - NRIグループ各社

■ NRIデータ合併の影響



■ グループ各社の売上高推移



3. その他 - ブランディング活動



未来創発フォーラム2007を名古屋で開催

未来創発フォーラム2007[名古屋](2007年3月12日開催)



「新世代に向けたNRI提言集」発行

「2010年、日本の未来を提案します。」プロジェクト 2010年、日本の未来を提案します。

～引き続き、活動中！～



書籍「2010年」シリーズ



(社)日本PR協会主催「PRアワードグランプリ」優秀賞受賞